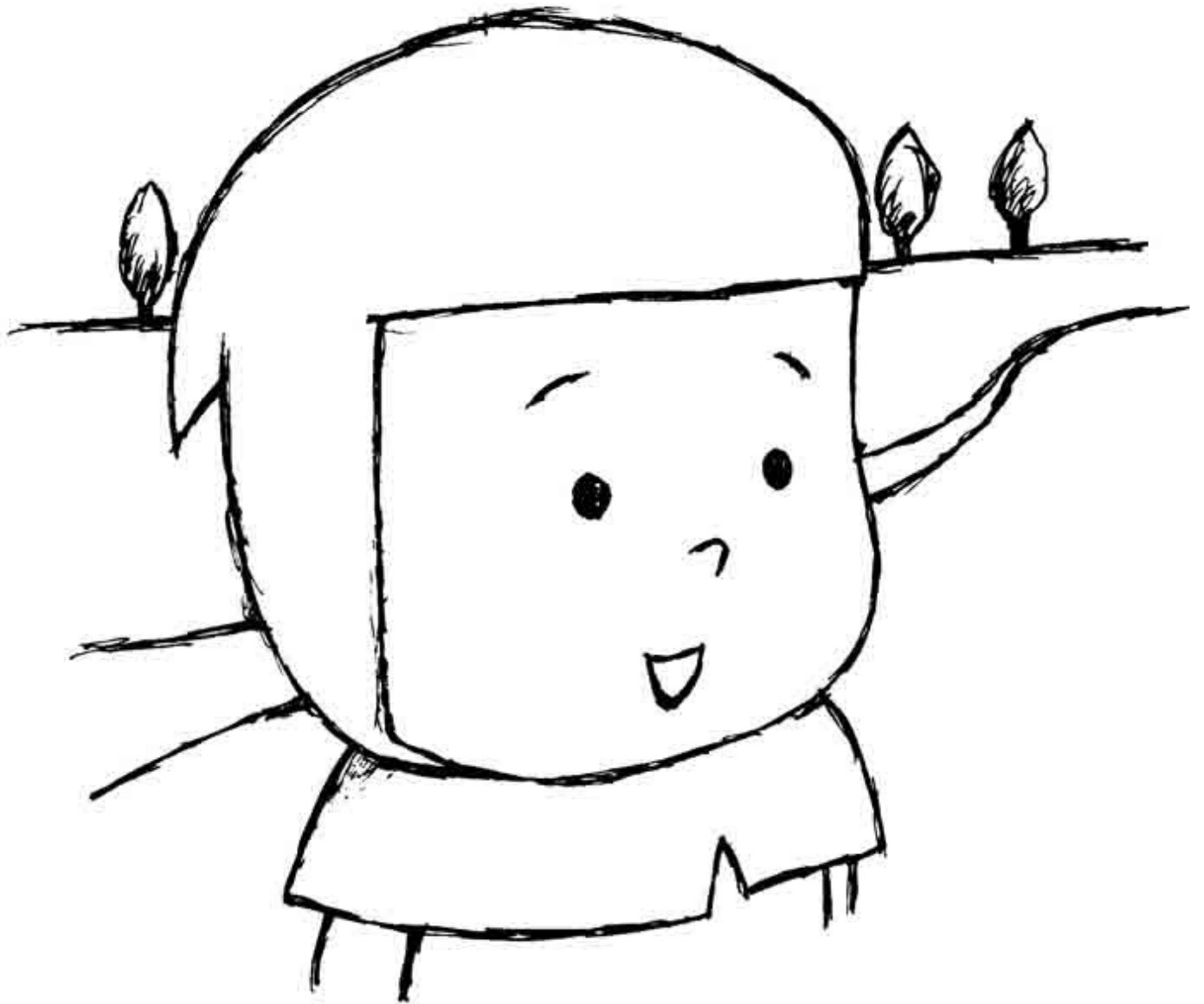


赤ずきん



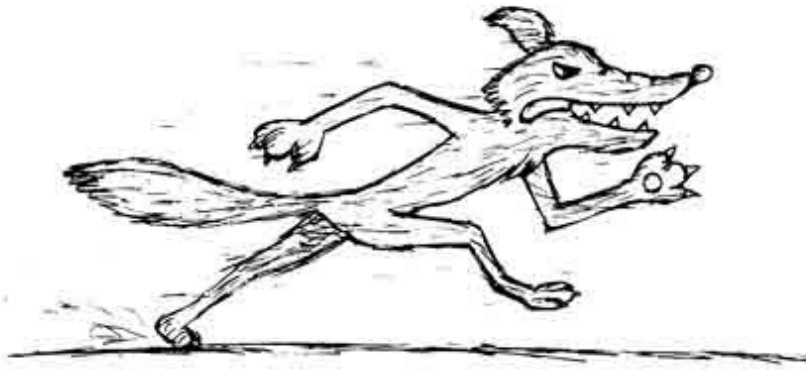
にき けんじ



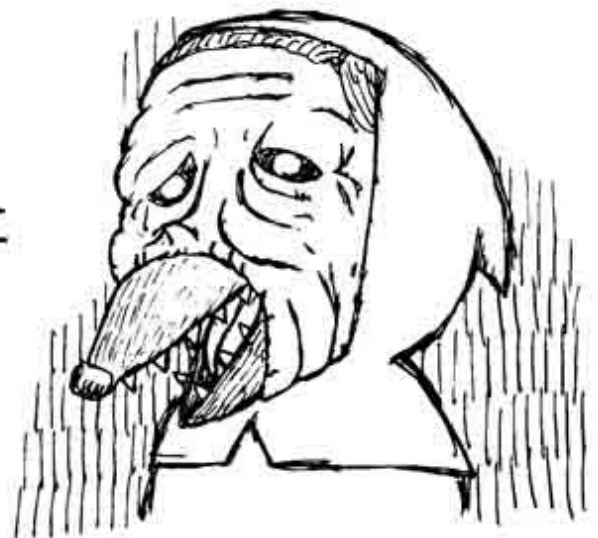
とても 食い意地の はった
女の子がいました その子は
いつも 赤いずきんを 被って
いたので 赤ずきん と呼ばれ
ていました

赤ずきんの お母さんとお婆さんは
仲が悪いので 一人で
おばあさんの家に
パンケーキを持って会いに
行くことになりました
でも 食い意地のはった
赤ずきんは パンケーキが
気になって 気になって
しかたありません

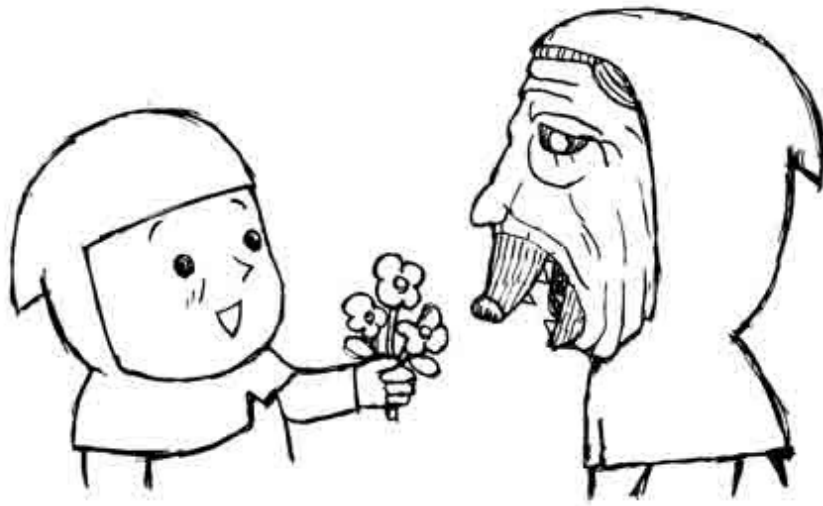




その話を 盗み聞きしていた オオカミは
風のように走り お婆さんの家へ向かいました
家につくと オオカミは
お婆さんを 殺しました
でも マズイので 食べずに
皮をはいで スッポリと
頭から かぶりました



そのころ 赤ずきんは
パンケーキを ムシャ ムシャ
と食べていました そのあと
パンケーキのかわりに 適当に
お花をつんで お婆さんの
家に 向かいました



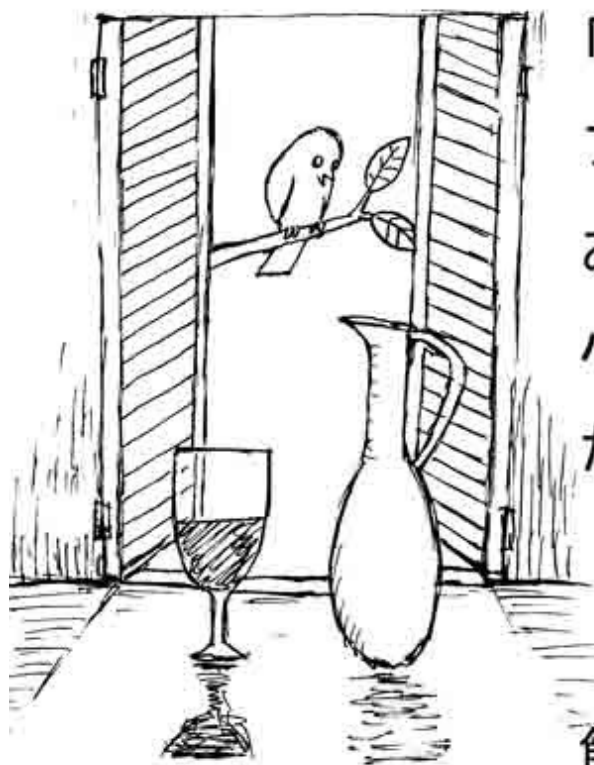
家につくと すぐに 食い意地のはった
赤ずきんはいいました 「お婆ちゃん なにか
たべたいなあ」 すると おばあさんがいい
ました 「そこの 戸棚の お肉を お食べ」

でも 戸棚の上に ネコがいて
赤ずきんにいいました

「食べちゃだめ その肉は
お婆さんだから！！」 でも
そんなこと 嘘だと思い

赤ずきんは お肉を ムシャ
ムシャ 全部 たべて
しまいました





「のどが 渴いたら テーブルの
ブドウジュースを お飲み」
お婆さんが言うと 小枝の
小鳥が言いました 「のんじゃ
だめ！！それは お婆さんの
血だから」でも そんなこと
うそだと思い ゴク ゴクと
飲み干しました

すると お婆さんが
近づいてきて
「さて 私も お前を
たべるとするか！！」
そういうと オオカミは
かぶっていた お婆さんの
皮を脱ぎ捨て 姿を
現しました





「ギャアアーツ！」

ものすごく おどろいた
あかずきんは うんこを
もらしました

ブリッ ブリ ブリ ブリッ
ベチャ ベチャ ブリッ！

あまりにも 強烈な
臭いで 鼻のいい
オオカミは 気絶
してしまいました





そのあと 泣きながら家に 帰りました

家につくと お婆さんと仲が

悪かった お母さんに

お婆さんが 狼に

殺されたことを

話しました すると

「本当に お婆さんは

死んだのね」ゆっくり

ききかえしました

うなづくとき赤ずきんを

やさしく だきしめました





END